

## 第2回横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会：議事録

日時 令和2年7月2日（木）19:00-21:00

場所 横手市役所条里南庁舎・講堂

### 出席者（33名）

本江正茂委員（オンライン参加）、遠藤恒夫委員、佐川莉奈委員、鈴木正志委員、高橋樹委員、高村星哉委員、田村杏奈委員、筑波義厚委員、照井咲枝委員、畠山尚弥委員、北条保委員、加藤杏子委員、金沢廣治委員、柏谷武志委員、佐々木壽一委員、木村利夫委員、菊池康明委員、岡根弘幸委員、高橋恵美委員、遠藤陽子委員、南野稔委員、佐藤千寛委員、川口桜加委員、佐藤優月委員、佐藤京香委員、伊藤綾美委員、山本真也委員、打川敦委員、奥山ひとみ委員、山田浩平委員、藤原幹子委員、山崎俊郎委員、嶋田陽子委員

### 欠席者（2名）

渡部尚男委員、伊藤洋二委員

### 市側出席者

事務局

総務企画部長\_村田清和、経営企画課長\_森田博範、同課副主幹\_大友幸憲、同課主査\_進藤倫啓、同課副主査\_齊藤瑞恵、財政課長\_小松忠昭、同課課長代理\_佐藤明子、同課副主幹\_黒澤雄悦、財産経営課長\_佐々木賢祐、同課課長代理\_照井孝志、同課主査\_佐藤良人、スポーツ振興課長\_加藤貞純、同課課長代理\_高橋秀明、生涯学習課長\_横井朗、同課課長代理\_宮本敦

-----  
18:57 資料確認、オンライン参加者の紹介と音声等確認

19:00 開会

（司会：経営企画課長\_森田）

ただいまから、第2回横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会を開会いたします。司会を務めます経営企画課長の森田です。本日もどうぞよろしく願いいたします。

それでははじめに、第1回目にご出席が叶いませんでした委員の方をご紹介いたします。秋田県高校体育連盟県南支部から木村利夫様、横手若者会議から伊藤綾美様、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社から山本真也様です。どうぞよろしく願い申し上げます。それでは次第に従いまして説明させていただきます。はじめに、前回からの質問事項につきまして事務局より説明いたします。

**(経営企画課主査\_進藤)**

6名の委員から事前に12の質問あり⇒「当日配布資料1」にて回答。

**(司会：経営企画課長\_森田)**

事務局のほうから説明をさせていただきました。この後の案件の中でも説明させていただく部分がありますので、質疑は後程お受けしたいと思います。それでは、次第の3により「本日の目的と流れについて」事務局よりご説明をいたします。

**(経営企画課主査\_進藤)**

資料1をご覧ください。第1回でも少しご説明した、市の大型公共施設の再編検討についてのロードマップとなっています。今回は、市の公共施設の考え方や、財政状況に対して共通理解を図るということを目指して参りました。今回以降は、それを踏まえ、各施設の状況ですとか、周辺施設を含めた広域的な視点を考慮しながら、各施設の再編方針を検討していただくこととなります。具体的に今日は、再編の方向性までをたどっていただくという内容になっております。まず、資料1の①、②、③までにたどるまでに必要な情報について、案件1と2として説明させていただきます。そしてその情報を基にグループワークとして意見交換をしていただく予定としております。

**(司会：経営企画課長\_森田)**

それでは次第4の案件に入ります。ここからは、本江委員長に進行をお願いします。

**(本江正茂委員長)**

本江です。それでは今日もよろしくお願いいたします。今、事務局から説明がありましたように、今日は資料1のロードマップの①、②、③までを駆け足で一通りたどっていきたいと思っています。ただ、何かを今日、この会で皆さんと議決して決めるという訳ではありません。現在の時点で各委員の皆さんの思い、感触というか、3つの施設の再配置方針（長寿命化、維持、廃止）をどうお考えになっているのか、みんなで共有をしたいと思っています。それを共有しながら、これからの更なる具体的な検討、協議の方向性を見出していきたいと考えています。

なお、改めて確認いたしますが、この検討委員会は、大きく3つの施設、「横手体育館」と「横手市民会館」、そして「大鳥公園プール」という、それぞれの機能をどうしていったらいいのかという方向性を「市民目線」で考えるというのが役割です。

この3つの施設について、それぞれ方向性は3パターンがあります。

一つは「長寿命化」をする。つまりその機能は、この地域にとって必要な機能だから、新しいものに建て替えるか、大規模修繕をして機能を維持していく。（今はまだ、具体的にどうするのかっていうのはちょっと置いておいて）この先もこの機能を使い続けたい

というのが「長寿命化」です。

二つ目は、そんなにお金を使う必要はないと言う方向性。使えるうちは使うけれども、大規模な改修はしない。いつかは使えなくなった時に、諦める。それが「維持」です。

三つ目は、もうすでにだいぶ傷んでいるし、持っているだけでお金もかかるし、「廃止」してもいいのではないかという方向性。それら3つの選択肢があるということです。

3つの施設について、この3つの可能性がありますので、「横手体育館」と「横手市民会館」、そして「大鳥公園プール」が、この3つのうちのどれであるか。最終的には、この検討委員会でそう結論付けをしていきます。今日は皆さんぜひ、事務局の説明を聞きながら、この3つの方向性のどれかをイメージして聞いてください。

グループディスカッションの時間になったら、私が進行しながら、それぞれでどんなことを考えているのか聞いていきたいと思います。先ほども言いましたが、今日はそれぞれの施設をどうするかという方向性を、まだ決める訳ではありません。それぞれの委員が、今までの事務局の説明を受けて、どう感じているかというのを話す。みんなどう思っているのかを聞く。そういうことを知る時間にしたいと思います。方向性の選択の判断を迷っているのであれば、その理由を。自分の意見と一致しているのか、違うのか。他の人の意見を聞いてみる。で、自分がさらにどう思うか。そんなことをワークショップでやりながら、これからの議論の進め方をつかみたい。というのが今日の目的です。

ワークショップの時間では、一人ひとりから意見を聞く時間となりますので、心づもりをしておいてください。それではまずは、今日の資料の説明を聞きましょう。事務局、よろしく願いいたします。

#### **(経営企画課主査\_進藤)**

資料2、3、4を説明。

#### **(本江正茂委員長)**

今の事務局の説明で、それぞれの施設の置かれている状況だとか、周り（他市町村）にどういう類似施設があるのかという状況をご説明いただきました。需要がキープされている施設もあるし、ちょっと下り気味の施設もあるよという内容でした。今の事務局の説明、資料2、3、4を聞いて、質問がある委員がいらっしゃいましたらお願いします。

#### **(委員A)**

資料4について。ただいまの事務局の説明の中の資料4にあります「対人口利用率」というものは、どういう数字なのか教えていただけますか？

**(経営企画課主査\_進藤)**

「対人口利用率」というものですが、これは、その市町村の人口が365日、1日一回利用したとした分の利用者数です。ややこしいですが、市民が全員、一年間続けて行った数字を分母にし、それに対する利用者数という率となります。

**(本江正茂委員長)**

人口から利用者数を推計するときの途中で出てくる数字ということです。ご理解いただけますでしょうか。

**(委員A)**

はい、わかりました。

**(本江正茂委員長)**

はい、他にご質問ありませんか？ないようですので今日のメインのグループディスカッションに入ります。

今日は、もうすでに6つの班に分かれて座っていただいています。各委員の意見を聞き合う、貴重な時間に入りたいと思います。

我々のやることを今一度確認しますが、たくさん横手市内には施設がありますが、この委員会では3つの大きな公共施設の方向性を考えたい。お金さえあればというと、身も蓋もない訳であります。あれば全部新しいものにして、冷房もつけて観客席もつけて、最新の設備をつけて施設を持てれば、それは一番ハッピーなことではあります。前回(第1回目の検討委員会)でも事務局から説明がありましたが、財政的にそうはいかない。人口も減ります。施設は最初にお金がかかるだけでなく、立派すぎるものを作ると、ランニングコストも大きい。この3つの施設を丸々、最高の現代のものにして持ち続けるという事は、どうも厳しい。だから、これは優先する、これはちょっと諦めるといったバランスを考えて、言い方はあれですけどもお買い物をする必要があって、その時に横手市にとって何を大事にして優先順位をつけて、あるいは下げて、バランスをとっていくのかということをもみんなで議論していくということです。一人ひとりに聞くと、それぞれ関心の違いがありますので、意見の違いはあるでしょうけれども、それをたくさん集まった時にみんなで合意ができるお買い物の仕方、施設の整備の仕方があるかということの話をしたい。それがこの会のミッションです。

委員の中には、普段からこの施設を使っている方々もいますし、施設が古くなっているという実感を持たれている方々もいると思いますので、その中でどういう風にしていったらいいのかという自分の考えがあると思います。また、いろいろな人の意見を聞いて、その考えが強化されたとか、反対に考えが変わったとか、これからいろいろ出てくると思います。そのあたりのことを出し合って、今日はみんながどういう風に思ってい

るか、分布も取りたいと思っています。意見の一致や食い違いの頭出しをしたいとも思っています。

何度も言いますが、何かを今日、決めたいとか二つに分けたいというのではなくて、他の委員がどんな風に思っているのか、見えるようにしたいというのが狙いです。一人ひとりの委員が、今どう思っているのか、それを率直に聞き合うところから始めます。

それでは改めて資料を見ていただいても結構ですから、今から 5 分ほど、3 つの施設について、3 つの選択肢（長寿命化、維持、廃止）を、「一市民として私はこう考えている」ということを考えてください。後で心変わりしてもいいので、今どう思っているのかということ、まずは心に定めていただきたいと思います。5 分後、リスタートします。どうぞ考えてください。質問があれば事務局を呼んでください。

### **(5 分後、各班に書記：市職員が入る)**

#### **(本江正茂委員長)**

5 分が経ちました。考えはまとまりましたでしょうか。今日は、誰がどの方向性を選択したかというのは、関係ありません。いろいろな意見の方がいるということ、可視化したり、どんな意見に寄っているのか、可視化したりするのが今日の目的です。バイアスなしで忖度もなしで、率直に今のところ「私はこう考えているよ」ということを話していただきますが、これからいろいろな情報を得て、いろいろな人の話を聞いて考えが変わるといっても全く当然ありえることですのでよろしく願いいたします。

それでは、早速聞きます。横手体育館について「長寿命化」すべきだと思われる方？「維持」でと思われる方？もう「廃止」でもいいのではと思う方？（それぞれの班の書記が人数を確認。横手体育館同様に、横手市民会館、大鳥公園プールについても同様の質問で 3 つの方向性について、各委員の現段階での思いの数字を把握した）

それぞれの班で、満場一致だったり、割れたりしているようです。

それではここからディスカッションに入ります。班ごとに、今日は意見をまとめる必要はありません。今日は、それぞれの委員が、どんな考えで、その方向性を現時点で選択したかということ、ディスカッションしていただきたいと思います。今から、20 分取りたいと思います。自分の意見となぜ同じなのか、なぜ違うのか、いろいろ話していただきたいと思います。20 分後、この班では、こんな話題になりましたという、こういう意見だったということを発表していただきたいと思います。もう少し議論を進めるなら、もう少し資料が欲しいとか、そういうことも話していただきたいと思います。書記の方、うまく促していただければと思います。

## (ディスカッションタイム 20分)

### (本江正茂委員長)

はい、それではそろそろ時間ですので、各班から発表していただきたいと思います。1つの班、3分以内で発表してください。意見が一致したところ、認識の違いが出たところ、面白い考え方、様々だと思います。前の発表した班と同じ意見が出ていたら、それはそれで結構です。では1班から順番に、発表をお願いします。

### (1班)

書記をしました財産経営課の照井です。1班は5人全員が、横手体育館は「長寿命化」をした方がいいという意見でした。横手市民会館は4人が「長寿命化」、1人が「維持」という意見でした。大鳥公園プールは全員「廃止」という意見でした。

それぞれの理由については、横手体育館は老朽化、耐震性能がないこと、座席数が極端に少ないこと（実際に使ったときも、座席数が少なくて困ったという意見があった）、また駐車場が道路を挟んで向かい側にあり、かつ消防署もある中で、頻繁に車や緊急車両が通る道路を渡って体育館に行かなければならないのはどうかという意見がありました。

横手市民会館については、現状は山の上であり、アクセスが悪い、駐車場が狭い、座席数が中途半端で興行などを呼べなくて、そのせいで稼働率が落ちているのではないかという意見がありました。横手体育館同様、耐震性能のない老朽化している建物でありますので、改修したとしても大きな費用がかかるのではないかということで、別の場所へ建て替えし、長寿命化した方がいいのではないかという意見でした。

大鳥公園プールについては、市内に50m、25mプールがありますし、現状、利用者も限られていることもあり、新たに設置する必要はないのではないかという意見でした。一部の意見としては、小学生の水泳大会を行う平鹿中学校のプールに、観客席を増設してはどうかという意見もありました。以上です。

### (本江正茂委員長)

はい、ありがとうございました。大変コンパクトにまとめて発表していただきました。では2班、発表をお願いします。

### (2班)

書記をしました、財産経営課の佐藤と申します。2班は5名です。横手体育館は全員「長寿命化」、横手市民会館は3名「長寿命化」、2名が「維持」でした。大鳥公園プールについては全員「廃止」ということでしたが、1名の方が市民プール機能は、体育館と一緒に整備してはどうかという意見がありました。

横手体育館は利用者が増えているというデータがあるということ。また、利用している方からは「狭い」という意見がありました。今回のデータを見ると、旧耐震であるため、防災時に安心して使える施設にして欲しいという意見がありました。市内であれば、立地条件のいい場所に横手体育館はあった方がいいということの意見もありました。

横手市民会館は、年数が経った際（将来的）に、このまま更新をしないままだと、いつかイベントを開く場所がなくなってしまうというデータがありました。このため、その場所を確保するためにも、旧市内にない困るのではないかと意見がありました。班内で、市民会館を使われている方同士で意見が分かれまして。近隣の市町村、大仙市や湯沢市の施設を利用できるのではないかとすることで「維持」という意見。もう一方では、コンサートなどの興行が、設備や機能が低くて選ばれていない市民会館になっているのではないかと意見があり、新しい施設をとすることで「長寿命化」という意見に分かれました。利用していない人からは、秋田ふるさと村や横手市増田まんが美術館などのホールを使えばいいのではないかとすることで、「維持」という意見でした。

大鳥公園プールにつきましては、先ほども話しましたが、全員「廃止」ではありますが、市民プール機能は、体育館と一緒にという意見もありました。以上です。

#### **（本江正茂委員長）**

防災機能というお話も出ましたね。それでは3班、発表をお願いします。

#### **（3班）**

**（委員Bから発表）**3班は5名です。横手体育館につきましては、「長寿命化」が4名、「維持」が1名でした。今の横手体育館は、老朽化、耐震性能がない、またスタンド（観客席）が少なく、BリーグやVリーグを呼ぶとしても今のままでは無理であり、市民に見せるスポーツを実現できていない状況との意見でした。市外からも人を呼び込めていないという意見もありました。3,000人を超える収容規模の体育館があればいいのではないかと意見もありました。

市民会館は全員「長寿命化」という意見でした。このまま更新しないと、県南部にいつか全くなってしまうということは避けたいと。できれば、この体育館と市民会館と一緒にになった複合したものを整備してはどうかという意見がありました。

大鳥公園プールは、全員「廃止」という意見でした。今の場所には、無理であろうという意見でした。以上です。

#### **（本江正茂委員長）**

ありがとうございました。では4班、発表をお願いします。

#### (4班)

**委員C**です。こちらの班では、横手体育館に関しては5名全員「長寿命化」という意見でした。老朽化が大変進んでいて、フロアもささくれ立っていて怪我の危険があること。また、観客席が少なく、見るお客様を呼びづらく、結果、利用料とかで収益を上げることができないのではないかという意見がありました。また、駐車場が道路を挟んであるので、横断が危ないという意見もありました。昨年、横手体育館でお菓子のイベントが開催され、行ってみたという委員の知人がいたのですが、暑くてとても居られなかったという意見でした。イベントに来た人が楽しめずに、環境が悪い（冷房設備がない）ために、お客様が帰ってしまったという事実があったようです。防災面も考えて、建物も駐車場もしっかりとしたものを作るべきだという意見でした。

横手市民会館についても、5名全員「長寿命化」という意見でした。吹奏楽とか合唱コンクール、踊りの発表会、成人式などで使われていますが、駐車場が少ないという意見が多かったです。建物の中も階段が多く、バリアフリーをしっかりして欲しいという意見もありました（若者でも辛いかも）。コンサートなり、イベントなりで、人を呼べる施設、楽しんでもらえるような、そういう箱にしていかなければならないのではないかと。維持費の面でも、新しく建て替えて、しっかりとシステムを作り、維持費をかからないようにして、長寿命化していくべきという意見がありました。

大鳥公園プールについては、全員「廃止」という意見でした。平鹿中学校が使われていますし、現状の大鳥山遺跡上にあるということで、改修は現実的ではないという意見。また、夏の2ヶ月しか使われていないということもありますし、このグループでは市民プール機能は「廃止」と意見が全員でした。屋外か屋内というのではなかったのですが、体育館に併設してはどうか（そういう意味では長寿）という意見もありました。

#### (本江正茂委員長)

水泳に対するニーズはあるのではないかという意見でした。では次、5班、お願いします。

#### (5班)

**中学生委員D**です。私達の班では、横手体育館の「長寿命化」が4名、「維持」が2名でした。今現在、たくさんの人に使われているので、長寿ではないかという意見でした。また防災の面で災害時の避難場所として活用すべきという意見もありました。

横手市民会館は「長寿命化」が5名、「廃止」1名でした。長寿命化という意見の方は、合唱コンクール等、また横手南中学校でも使っている現状があり、利用者が多いということで「長寿命化」していくべきという意見でした。「廃止」という方は、位置が悪い、駐車場が少ないという意見でした。

大鳥公園プールについては、「長寿命化」が1名、「廃止」が5名でした。大鳥公園プールは、今現在使われていないし、大鳥山遺跡の上にあっいつ改修できるかもわからない、そういう状況なので。ただ、長寿命化という意見の方は、憩いの場というか、人が集まって、そこから横手市が盛り上がっていけばいいなという意味で、長寿命化してはというお話でした。他に屋内プールを作れば、子供や高齢者も使えて、足腰の弱い人も長生きをしていただけるのでは?という意見で長寿命化という意見でした。

新しいアイデアとしては、湯沢市に一つ体育館を作って、美郷町にプールを作るなど、地域ごとに大型施設を分担して整備するのもいいのではないかという意見がありました。以上です。

### **(本江正茂委員長)**

プールというと、スポーツ施設というイメージが強い感じもしますが、健康維持という考え方でプールを整備するという視点がありました。では最後、6班、よろしくお願ひします。

### **(6班)**

**高校生委員E**です。まず横手体育館は「長寿命化」が5名、「維持」が1名でした。これについては、4つの意見が出ました。1つ目は使われているので長寿命化すべき、2つ目に2040年になくなってしまわないで長寿命化すべき、3つ目に旧横手地区の中心部に位置することで交通のアクセス面がいい、4つ目に県外からの利用も見込め、飲食店など地域にも経済効果が期待されるのではないかと、という4つの意見が出ました。「維持」という方は、現在の増田体育館を利用すればいいのではないかという意見でした。

次に横手市民会館は、「長寿命化」が4名、「維持」が2名でした。他に似た施設でアクセスもいい、秋田ふるさと村を使ったらどうかという意見、でも必ずしも使いたい時に使えないのではないかと意見がありました。また、市民会館は、大きなコンサートなどを開催するときは、駐車場が今のままでは少ない。小さな工事で対応できるのではないかと意見もありました。

市民プールについては、全員「廃止」という意見でした。プールは維持していくのにお金がかかる、現在の平鹿中学校を増設改修して使うのはどうかという意見でした。

### **(本江正茂委員長)**

ありがとうございます。観光客を誘致することにもつながるという外部経済の効果とか、客席もそうだけれども、それ以上に駐車場が少ないので、客席だけ増やすのもだめで駐車場がボトルネックになっているということとか、多面的な議論がなされていたという印象です。ありがとうございました。

6 つの全てのグループからの発表が終了しました。重なる意見もありましたし、議論の広がりも出てきたところもありました。短い時間で大変にありがとうございました。

これまでの事務局からの資料もよく見ていただいて、説明も受けて、各委員がいろいろな意見を持っていることを確認できたと思います。「それならば残そう」、「維持でいい」、「廃止したらどうか」という、いろいろな意見が出てきました。今日のグループディスカッションの内容は、書記が記録していますし、グループごとの「長寿命化」、「維持」、「廃止」の現段階の数も、次回までに共有できるようにします。

さて、いろいろな論点が出てきました。「交通アクセスの問題」、「バリアフリー」、「防災時の問題」など、そういった視点からの資料も必要かどうか、これから市側とも協議をしながら、会を進めていければと感じたところです。今日は、何かを決める会ではないと最初にお話ししました。そういう意味では、何かこうモヤモヤとした感じで今日は終わるわけですが、以降も少しこういうのが続きますが、次回の第3回は、もう少し進んでいきます。よろしくお願いたします。

会次第の「その他」というのがありますが、事務局の方で何か案件はありますか？

**(司会：経営企画課長 森田)**

事務局の方では、特にございません。

**(本江正茂委員長)**

案件は一通り終わったということですが、皆様の中で、全体の意見を聞いてこう思ったとか、ご意見ありませんでしょうか。あるいはメールや質問用紙も準備していただいていますので、事務局に出していただき、今後の会の進行につなげていければと思っております。

**(委員 F)**

平成 17 年の市町村合併前の話ですが、私は横手市を代表して秋田県民会館の準備の議論をさせていただく機会がありました。その時は、建設予定地のそばにある和洋高校を移転して、そこに駐車場を作るべきだと意見を言い続けてきました。

一方、平成 5 年の時、市民会館の大幅リニューアルの機会がありましたが、その際、既に駐車場の問題があったため、横手市民会館の隣の記念公園のサッカー場を赤坂運動公園に移動したり、バックネットを移動したりして、そこを駐車場にという意見を言ってきました。それは、当時の市長と約束をしましたが、その後、市長は知事になって、その約束が果たされなかったという経緯があります。市民会館は、駐車場のスペースが多く取れば、もっと稼働率が上がると思います。私は、今の記念公園のサッカー場に新しい市民会館を建て替えて、今の市民会館の位置に駐車場を増やせばいいという意見

です。

**(本江正茂委員長)**

ご意見、どうもありがとうございます。

**(委員G)**

一般市民代表の委員Gです。資料4の需要と供給のところですけども、2040年時点で利用できない人が多くなってしまうという悲しい資料になっています。今日この皆さんとお話しして、大体の意見は一緒でした。私としては、横手市をもっと盛り上げたいと思っています。それでこの表を見ると、人口は減りました、じゃあ建物はどれを潰しますか、次はどれを？というように見えます。横手市としては、歯止めをかけるというか、少子高齢化を止めるような施策というか、何をしているのかというのが聞きたいです。また、これからどうしていききたいというのが聞きたいです。よろしくお願いします。

**(本江正茂委員長)**

いろいろ予測の前提となっている人口動向（少子高齢化等）がありますが、それに対抗するといいますか、横手市の「策」というものは、どういうものがあるかというご質問でした。事務局で何かお答えできるものがあればお願いします。あるいは引き取って、次回の議論にさせていただければと思いますが。

ただ、一般論としては、人口のトレンドというのはそんなに変えられるものではなくて、結構精度が高いものです。急に人口が増えるということは、まずないです。一般論としては、そこはシビアですが、減っていくというのは仕方がないことです。

**(司会：経営企画課長 森田)**

今現在、人口減少というのは、横手市の最大の課題と捉えています。人口減少の削減の幅を縮小するための施策を、新たな総合計画の中でも考えているところです。一番重要な点として、何もしないと大きく人口が減っていくということ。そうならないための施策をきっちりと立てていかなければならないと考えておりますし、今こうやって皆さんにご議論していただいている大型公共施設の再配置につきましても、その歯止めとしての施策の一つとしてご議論をいただいているものと考えています。次回の第3回の時に、資料を揃えて出したいと思えます。

**(本江正茂委員長)**

いろいろな予測のベースとなっている人口動向のシミュレーションとかを、横手市は持っていると思います。そういった資料も共有し、そういう人口動向シミュレーションの前提があつて、挽回したいと思っている横手市の施策があつて。そのバランスについても今後考えていければと思います。

今日の結果、また今のような意見も踏まえて、第3回目をどう進めていくか、事務局と話し合っただけ進めていきたいと思ひます。では、今日はここで終了したいと思ひます。進行を事務局にお返しします。

**(司会：経営企画課長 森田)**

本江委員長、進行ありがとうございました。皆様、長時間に渡り活発なご議論をありがとうございました。前回同様、質問の受付用紙をテーブルに置いてあります。メールやファクスでお寄せいただければと思ひます。なお、次回第3回目は、7月中旬以降を予定してあります。調整後、お知らせいたしますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

**以上 (21:00 閉会)**